



み・な・み

二本松南小学校だより No. 6

令和7年10月2日

発行責任者 校長 太田孝志

ようやく、季節が少しずつですが、秋らしくなってきました。子どもたちは、外部の講師による出前授業、見学学習、修学旅行、そして今後実施予定のコスモス発表会の練習と様々な行事を経験しながら学校生活を楽しく送っております。保護者の皆様には、充実した教育活動が実施できるように、お子様の健康管理や事前の準備等にご理解とご支援をいただきありがとうございます。引き続き、よろしく願いいたします。

自分たちの力で、楽しい学校生活にしよう！

9月のある日、「校長先生に、お話があります。」と6年生の代表児童が校長室にきました。その話とは、「昼休みの時間をもっと長くしてほしい」というもので、6年生が全校生にとったアンケート結果を示しながら、校長と教頭にプレゼンテーションをしたいとのことでした。



9月9日(火)プレゼンテーション当日、タブレットを活用して、6年生がアンケート結果を数字や具体的な言葉等で示しながら、より分かりやすく理解を得られるようにと説明しました。伝えたいことが明確で、とても工夫され説得力もあり、みんなの熱い思いも伝わるプレゼンテーションでした。

「ロング昼休みについて」

○アンケート結果

- ・全校生のほぼ全員が「昼休みの時間が短い。昼休みを長くしてほしい。」と希望している。
- ・その理由として、「遊ぶ時間が少ない。」「低学年は、給食の片付け・歯磨きで昼休みがあまりない。」「友だちと仲良く遊ぶ時間がほしい。」「他の学年とも交流したい。」等

○目的

- ・「ロング昼休み」を通して、みんなが仲良くなり、絆を深める。
- ・みんなが楽しい学校生活になるようにする。

○そのためには、こんなことを頑張りたい。

- ・時間を守る
- ・勉強を頑張る
- ・あいさつをする
- ・運動を頑張る



最初は、「もっと遊びたい。」という、自分のためだけの思いだったかもしれませんが、それが、「他の友達は、どう思っているのだろう。」「他の学年は・・・。」と広がり、他学年の状況を知ること、【自分のため】から【みんなのために何とかしたい】という思いが、6年生全体に広がり、その思いが強くなっていったのでしょうか。

『みんなの力が結集すれば、とても大きな力になること。』『誰かのために、何とかしたいという思いは、みんなの心を動かすこと。』『思っているだけ、言っているだけでは、何も変わらない。行動することが大切であること。』『自分の思いだけを通すのではなく、相手を納得させるだけの根拠や理由が必要であること。伝え方も工夫する必要があること。』『自分の思いが通った後の行動が、より大切であること。』等、この経験を通して、6年生は、様々なことを学んだのではないのでしょうか。

全校集会では、6年生が「ロング昼休み」について、全校生と共有し、一人一人が自分事として捉え、「仲の良い楽しい学校にしよう。そのために頑張ろう。」という意識を高めるための発表を行いました。他学年の子どもたちも真剣に、うなずきながら聞いていました。

「ロング昼休み」となったある日、校庭では、黄色い帽子をかぶった多くの1年生が、歓声を上げて遊具で遊んでる姿が見られました。学年関係なく、元気にサッカーをしている姿が見られました。終了時刻になると、校庭にいた子どもたちが、声を掛け合いながら、校舎に向かって走って戻る姿が見られました。子どもたちが自分たちの力で、笑顔あふれる楽しい学校生活となるように、私たち教職員も支援していきたいと思っております。

今後も変化が激しく予測困難な社会を生き抜く子どもたちには、【様々な課題を捉え、その解決のために、よりよい方法を考えたり実践したりする力】、【多様な人々の考えを尊重しながら、課題解決に向けて話し合い、協働して取り組んでいく力】を育んでいかなければならないと思っております。様々な機会を通して、また、成功体験を通して、子どもたちがそのような力を身に付けることができるようにしていきたいと考えております。

※ 10月4日(土)から6日(月)は、子どもたちがとても楽しみにしている提灯祭りが開催されます。安全で楽しい3日間となるように、学校やご家庭でのルールに基づいて、お子様へのご指導をよろしくお願いいたします。